

真壁小学校が交通安全 子供自転車全国大会出場



交通安全子供自転車茨城県大会に優勝し、同全国大会に出場した真壁小学校の選手と関係者のみなさん

東京ビッグサイトで開催された「第43回交通安全子供自転車全国大会」に、真壁小学校が出場しました。

同大会は、子どもたちが交通規則と自転車の安全走行技術を身につけることにより、交通事故を防止しようとするもので、都道府県大会を勝ち抜いた強豪47チーム188人が参加。競技は、交通規則テストと実技テスト（法規・技能走行）で行われました。惜しくも同校の入賞はなりませんでしたが、チーム一丸となって持てる力を出しきりました。

「真壁紺屋・和みアート」 ～藍からのメッセージ～



平成18年真壁藍工房5周年記念作品より

真壁藍保存会では、今秋10月下旬から11月上旬に、真壁町並みをジャパンブルーで彩る「真壁紺屋・和みアート」を開催いたします。

会員手染めののれんやランプシェードの作品、市内の幼稚園・保育園の子どもたちや徳島県の染色作家アキヤマセイコ先生の作品を展示し、藍染め体験も行います。

訪れる人や暮らす人が藍色の美しさに心と目、元気になる藍からのメッセージを発信いたします。

今秋、あなたに届きますように。

板東市少年柔道大会で 西村稔真さんが第3位



約1,300人の小・中学生が参加のしで行われた「第31回板東市少年柔道大会」小学3年生の部で第3位の成績を収めた西村稔真さん

板東市および近隣市町の約1,300人の小・中学生が参加して、板東市で開催された「第31回板東市少年柔道大会」小学3年生の部で、西村稔真さん（真壁町下谷貝地区・現4年生）が第3位の成績を収めました。

友達の影響で2年前に柔道をはじめた西村さんは「1回戦から、がむしゃらにやっていたら、いつの間にか3位になっていた。」と、初入賞の喜びを話していました。現在、次の大会に向けて週5日・1日3時間の猛練習に励んでいます。今後の活躍が期待されます。

茨城県テコンドー選手権 大会で成田咲羅さんが初優勝



1年間の練習成果を発揮し、県テコンドー選手権大会女子小学1年生の部で見事初優勝した成田咲羅さん

石岡市で開催された「2008第10回茨城県テコンドー選手権大会」女子小学1年生の部で、成田咲羅さん（真壁町桜井地区）が初優勝しました。

テコンドーは格闘技の一種で、韓国の国技。オリンピックの公式種目にもなっています。多彩な足技と、下段への攻撃が厳しく制限されていることから、足で行うボクシングとも言われます。咲羅さんは、父隆之さんや兄姉の影響で、6歳からテコンドーを始めました。現在は、週2回練習に励んでいます。今後の活躍が期待されます。

上小幡営農組合が遊休農地 などの解消に枝豆まつり開催



枝豆まつりに参加した約500人の方は、枝豆の束ね方にもそれぞれ工夫をこらさずとして収穫を楽しんでいました。

真壁町上小幡地区の畑で「枝豆まつり」が開催され、夏の味覚枝豆の収穫を楽しむ家族連れなど約500人で賑わいました。

これは、上小幡営農組合（田口毅一代表）のみなさんが、遊休農地や耕作放棄地の解消にむけて、組合員の畑約30㍓に枝豆を丹精込めて栽培。その収穫を市民の皆様楽しんでもらおうと、地区の協力を得て開催されたもので、今年で2年目を迎えます。当日参加した方々は、枝豆の束ね方にもそれぞれ工夫を凝らすなどして収穫を楽しんでいました。

桃山中学校生徒が 真壁祇園祭典中に市街地清掃



真壁祇園祭典中、朝7時から桃山中学校生徒の有志のみなさんが、同祭典が行われる真壁市街地の清掃作業を行いました。

中学生として、まちづくりに協力できないだろうか、生徒会の呼びかけで行われたこの作業は、今年で7回目を迎えます。「毎年行っていますが、今年はゴミが少なくなっていました。この作業も7年目なので、街をきれいにしようということが、地域の方や祭りに来ている方に伝わってきたのでしょうか。」と、生徒のみなさんは話していました。

防犯連絡協議会大和支部と 青木地区の皆さんが除草作業



市防犯連絡協議会大和支部役員と青木地区の皆さんが青木地区内の通学路の安全確保を目的に除草作業を行いました。

防犯連絡協議会大和支部役員のみならず、青木地区のうおいセンター運営委員のみなさんの協力を得て、青木地区の通学路の除草作業を行いました。

これは、大和地区の通学路で特に雑草・雑木などで暗くて防犯上危険と判断した、羽田山道6号線沿いの除草作業を地元青木地区のみならず呼びかけて実施したものです。

当日参加した約40人の皆さんは、草刈機や鎌を手で除草作業に汗を流しました。併せて、隣接する、市「ゆず公園」の除草作業も行われました。

桜川市で“初夏のいばらき” 観光キャンペーン開催



桜川市の観光資源をPRする日帰り型観光キャンペーンに参加した42人のみなさんは、とうもろこし&ブルーベリー狩りや田舎料理バイキング・SL乗車で、初夏の1日を満喫されたようです。

茨城への体験ツアーを通じて桜川市の魅力ある観光資源をPRしようと「石の町でとうもろこし&ブルーベリー狩りとSLの旅」と題してバスで桜川市内を巡る、日帰り型観光キャンペーンが行われました。

茨城県観光物産協会が主催するこのキャンペーンには、県内はもとより首都圏から42人が参加。岩瀬駅に集合したみなさんは、農園でとうもろこしとブルーベリー狩りを体験後、やすらぎの里で田舎料理バイキングに舌鼓。そして真岡駅から下館駅までSL乗車を楽しみました。